NPO法人　海の森づくり推進協会

# 第15回 海の森づくり シンポジウム

## 海藻によるカーボンオフセットの将来と ソーシャルファンドによる海の森づくり

開 催 日 ： 2016年6月4日〈土〉9:00～17:00

場　　所 ： 東京都千代田区神田駿河台1-8　日本大学理工学部1号館121室

参 加 費 ： 4,000円/人（ただし、講師、報道関係者、学生、海の森づくり推進協会会員およびREADYFOR海の森づくりプロジェクト出資者は無料）

午前の部（9:30-11:10）　基調講演

午後の部（13:30-16:50）　パネル討議：新しい海藻ビジネス成立のための条件と課題




主催 ： NPO法人 海の森づくり推進協会　協賛 ： 日本大学理工学部海洋建築工学科
日本大学生物資源学部海洋生物資源科学科・一般社団法人国際海洋科学技術協会

お問い合わせ先 ： 携帯：090-3690-5075（堀田）,090-3603-5415（松田）

# はじめに

日本大学名誉教授　堀田　健治

【趣旨】

昨年パリで開催された、地球温暖化防止に関わるCOP21、2010年に開催された生物多様性に関わるCOP 10, 毎回のこととはいえ、会議の結末が先進国、途上国と穏やかに合意されることもなく、我々を取り巻く環境は変化の一途をたどっている。温暖化に伴う海の変化が海の生物の生息環境にも多大な影響を及ぼしていることが報告されて久しい。

海の森づくり推進協会では、人工的かつ効率的に、海の森づくり（も場づくり）に貢献しながら、海の豊かさを支えていくことを目的として活動を行なってきた。

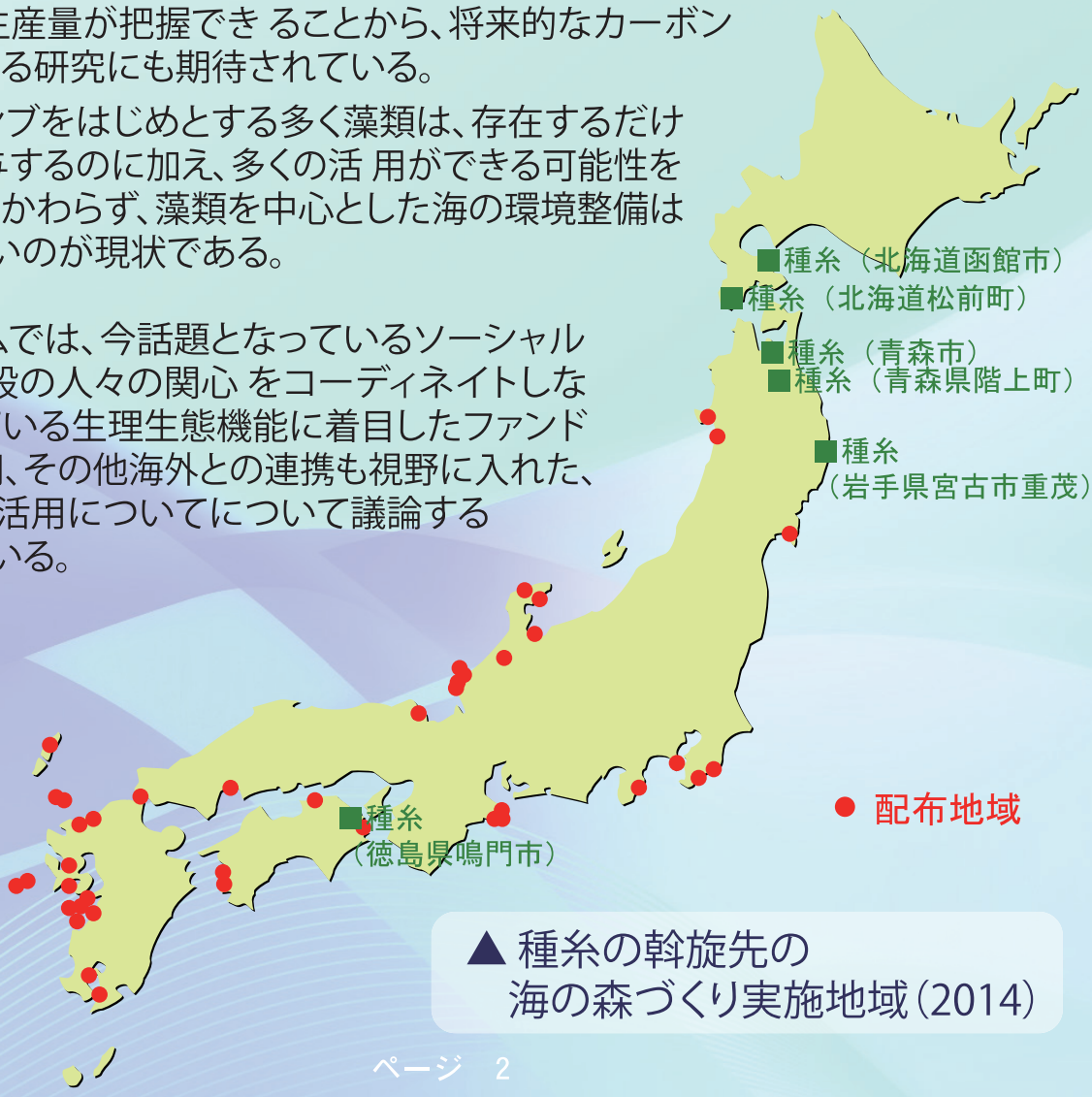
日本各地で、真 コンブの種糸によるコンブ増殖は、当初の種糸斡旋量1200m（2002年）から16,000 m(2014 年)に伸びるに至っている。海藻は本来寒流域でよく育つが、海の砂漠化に加え、温暖化 に伴う水温分布の変化により、海の生物の生息域である海藻の森は大きく変化してきてい る。

古来より海藻は食料として利用されてきたが、現在では医薬品、健康食品、工業用資源などに利用されるほか、バイオマスによるエネルギー資源としての利用、また藻類は葉から栄養を吸収することから、海水の浄化、さらに 海中に多大なCO2が溶存している状態 にあって、光合成による海水中のCO2の吸収作用にも注目が寄せられている。

特に、海の 森づくりで、取り扱っている種糸による人工的育成は、安定供給とその生産量が把握でき ることから、将来的なカーボンオフセットに対する研究にも期待されている。

このように コンブをはじめとする多く藻類は、存在するだけで環境改善に寄与するのに加え、多くの活 用ができる可能性を有しているにもかかわらず、藻類を中心とした海の環境整備はなかな か進まないのが現状である。

本シンポジウムでは、今話題となっているソーシャルファンドなど、一般の人々の関心 をコーディネイトしながら海藻が有している生理生態機能に着目したファンドによる新しい 利用、その他海外との連携も視野に入れた、海の森づくりと利活用についてについて議論することを目的としている。




▲種糸の斡旋先の
海の森づくり実施地域（2014）

# 写真集・これまでの海の森づくりイベント

■基調講演者、会場責任者、司会


大野 正夫
（基調講演1 ごあいさつ・事務局長）


堀田 健治
（基調講演2-1 午後の部司会）


桑江 朝比呂
（基調講演2-2）


松尾 直樹
（基調講演3）


岡本 強一
（総合司会）


藤野 修二郎
（午前の部司会 パネリスト）

■パネリスト


松田 惠明


門脇 秀策


河邊 克己


太院 億


成田 省一


廣海 十朗

【これまでの海の森づくりイベント】

◆シンポジウム
2015　第14回　「6次産業化への道」
2014　第12回　「海藻類とヨウ素」
2014　第11回　「海の森づくりの過去・現在・未来」
2013　第10回　「昆布生産の聖地南茅部と海の森づくり
　　―食材開発の多面的機能―」
2012　第09回　「生物多様性と海の森づくり」
2011　第08回　「東京湾の魚たち、今・昔」
2010　第07回　「海と森の共生」
2009　第06回　「海洋施肥と海の森づくり」
2008　第05回　「バイオ燃料と海の森づくり」
2007　第04回　「海洋環境と沿岸漁業振興問題解決策
　　としての海の森づくり」
2006　第03回　「食糧・環境問題解決策としての海の森づくり」
2005　第02回　「里山、里地、里海を考えよう」
2004　第01回　「いま、なぜ海の森づくりか？」
2003　講演会　「21世紀の海づくり、魚づくり、人づくり」

◆海の森づくりサミット
2014　第04回　こんぶサミット PART I /PART II
2009　第03回　こんぶサミット in 壱岐・東京・重茂・青森・宇和島
　　―豊かな海との共生を目指して―
2007　第02回　こんぶサミット in 壱岐・東京―環境と食育―
2004　第01回　こんぶサミットin おおむら

◆実用新案登録証（日本）
2006　登録第3119989号：環境保全型複合増殖林礁

◆特許
2010　英国特許：GB2453194：Method for cultured sea algae filed 20 June 2008.
2012　米国特許：US8,126,780 B2　Date of Patent: Feb.28, 2012

◆研修ツアー
2015　長崎県五島ツアー
2014　西岬・富津ツアー
2010　中国青島ツアー
2009　長崎県壱岐ツアー
　　岩手県重茂・青森県青森・
　　北海道南茅部ツアー
　　愛媛県宇和島ツアー
2005　中国大連ツアー

◆恒例イベント
4-5月　多摩川河口の干潟観察会
5-7月　観音崎磯の海藻観察会
7月（海の日）海藻おしば体験教室

◆受賞暦
2013　秋田県環境大賞（環境保全の部）
　　受賞
2010　水産ジャーナリストの会
　　2009年度賞受賞

# 海藻によるカーボンオフセットの将来と ソーシャルファンドによる海の森づくり

於東京都千代田区神田駿河台1-8　日本大学理工学部1号館121室

開 催 日：　2016年6月4日〈土〉9:00～17:00
参 加 費：　4,000円/人（ただし、講師、報道関係者、学生、海の森づくり推進協会会員およびREADYFOR海の森づくりプロジェクト出資者は無料）
総合司会：　日本大学准教授　岡本　強一

9:00　受付
9:30　開会の辞　総合司会　日本大学准教授　岡本　強一

■午前の部　司　会　里海イニシアティブ理事長　藤野修二郎
9:30～11:10　基調講演　：　海藻によるカーボンオフセットの将来

1. 海藻産業の現状　高知大学名誉教授　大野　正夫
2. 海藻によるCO2固定研究の現状と実用化の可能性
   2-1　CO2吸収源としての河口浅海域の活用
   港湾空港技術研究所沿岸環境チームリーダー　桑江 朝比呂
   2-2　コンブ増殖によるCO2吸収について
   日本大学名誉教授　堀田　健治
3. 海の森づくりの排出権化・付加価値化への論点と課題
   （株）PEARカーボンオフセット・イニシアティブ代表取締役　松尾　直樹

11:10～13:30　昼休み / 海の森づくり推進協会理事会・総会於第1号館123室

■午後の部　司　会　日本大学名誉教授　堀田　健治
13:30～17:00　パネル討議：新しい海藻ビジネス成立のための条件と課題
パネリスト（話題）

| | | |
|---|---|---|
| ・鹿児島大学名誉教授 | 松田　恵明 | ソーシャル・ファンディイングと海の森づくり |
| ・里海イニシアティブ理事長 | 藤野 修二郎 | 里海イニシアティブの挑戦 |
| ・鹿児島大学名誉教授 | 門脇　秀策 | マグロ養殖と海の森づくり |
| ・（株）カワショク代表取締役 | 河邊　克己 | 海藻老舗野チャレンジ |
| ・太院薬食研究所合同会社代表 | 太院　億 | 醗酵海藻 |
| ・函館コンブプロジェクト代表 | 成田　省一 | ロシア極東昆布に関して |
| ・日本大学教授 | 廣海　十朗 | 昆布文化のロシア国普及活動 |

16:50　閉会の辞
17:00～19:00　懇親会（参加費：1 000円/人）

懇親会が同会場で開催されます。ご都合のつく方は是非ご参加ください。
当日はお弁当をご持参ください。

# 広　告　海の森づくり第15回シンポジウムのご成功をお祈りします。


「海の森づくり」の大きな可能性と日本の水産業復活へのアプローチを提言




## 海の森づくり
### ― いつまでも魚が食べられる環境へ ―

松田恵明 著 NPO「海の森づくり推進協会」代表理事

本書は、漁業経済学者として国内外の水産業問題に携わってきた松田恵明氏が日本の漁業・水産業が抱えるさまざまな問題を提起し、漁業環境の復活のカギとして注目を集める「海の森づくり」について解説。豊富なデータや事例を交えながら、大型海藻の海中林・藻場づくりの重要性と、同氏が代表を務め全国的な広がりを見せる NPO「海の森づくり推進協会」の活動について紹介する。さらに、エコ効果や環境浄化作用、肥料や医薬品への利用、環境教育や社会教育、食育など「海の森づくり」が持つ幅広い可能性について解説。

A5判 168頁 定価：本体2,400円（税別）

株式会社 緑書房　〒103-0004 東京都中央区東日本橋2丁目8番3号
TEL.03-6833-0560 http://www.pet-honpo.com






網元 浜造り
冬野村水産株式会社
北海道函館市臼尻町245
TEL（0318）25−3456（代）
FAX（0318）25−3457
代表取締役社長 野村　譲
http://www.hamazukuri.com
e-mail:amimoto@hamazukuri.com

生産段階認証
流通加工段階認証

網元浜造り製品のご注文は
お電話（フリーダイヤル）0120-32-3457
網元浜造りオンラインショップ
http://hamazukuri.open365.jp/



## 北海道三祐株式会社




| | | |
|---|---|---|
| 本　　社 | 札幌市北区屯田6条8丁9-12<br>TEL（011）773-5121　FAX（011）773-5128 | |
| 室蘭出張所 | 虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉144-75 | TEL（0142）82-3548 |
| 東北営業所 | 宮城県仙台市青葉区柏木1丁目1-53-201 | TEL（022）779-7236 |
| 川下機材ｾﾝﾀｰ | 札幌市白石区川下2113-68 | TEL（011）874-3950 |






機能性組紐ロープと環境浄化システムで、人と自然との共生、
持続可能な循環型社会の構築に貢献いたします。

ティビーアール株式会社
Aichi Quality 認定番号044
本社　〒442-0844愛知県豊川市小田渕町四丁目63番地
電話　0533-88-2171　FAX　0533-88-6219
URL　http://www.tbrjp.co.jp　mail: info@tbrjp.co.jp
海外工場　上海天維亜編織有限公司（上海市松江区小昆山鎮鶴渓路145）
TBR上海事務所（上海市虬江路1000号　聚源大厦1611室）


## 海洋海藻養殖事業の普遍性ビジネス

岩井克己

1．普遍性ビジネスとは国家的事業として毎年当然の生業として永続的に行える事業
2．具体例：米、麦、トウモロコシ等
3．海藻コンブ養殖の普遍化：目標は年間100億トンのコンブの養殖生産
4．コンブ養殖の価値：
　養殖の環境負荷が殆どないばかりでなく、
　水産増殖効果は大きく、CO2吸収を含め、その環境保全価値はずば抜けて大きい。
　さらに、その生産の肥料コストは余りかからず、
　その生産物コンブは
　　①食糧・食料・健康食・美容系価値
　　②飼料系価値
　　③肥料系価値
　　④産業系価値
　　⑤工業系価値
　　⑥エネルギー系価値
　等普遍的価値のある全てについて循環型社会の構築に欠かせない
　天然由来の原材となっている。

# 広　告　海の森づくり第15回シンポジウムのご成功をお祈りします。


桃太郎海苔

大原漁港
つり船
松鶴丸
電話：0470-62-1569
千葉県いすみ市大原758
代表　中村 真也
千葉県遊漁船連盟 http://www.fishing.chiba.jp/

現代人の美容と健康に！
海草美人®
海洋深層水で丁寧に練り上げたダイエット海藻めん
わかめ・海苔入り
藤水（トウスイ）フーズ
〒238-0232
神奈川県三浦市晴海町19-98
TEL(046)881-0853　FAX(046)881-0855
e-mail : info@kaisoubijin.jp　URL : http://kaisoubijin.jp/

万年の里海から
真昆布（まことの昆布）を皆様へ
道南伝統食品協同組合
北海道函館市大船町600-5
TEL　0138-25-5403
FAX　0138-25-3590

Marine Forest Project
海の中の森づくり
美しい海藻の森を育む
株式会社 渋谷潜水工業
SHIBUYA DIVING INDUSTRY,CO.,
神奈川県平塚市根坂間821-11 船ビル3F
TEL:0463-50-3350　FAX:0463-50-3368
e-mail:info@shibuya-diving.co.jp
URL http://www.shibuya-diving.co.jp
一般社団法人 日本漁場藻場研究所
The Japan Marine Forest Research Institution
長崎県壱岐市石田町筒城仲触1007-5
TEL:0920-44-9001　FAX:0920-44-9002
e-mail : gyoba.moba@hm.iki-vision.jp

磯焼けで元気を失った海を
蘇らせませんか？
昆布科の海藻を主原料とする
養殖ウニ・あわびの飼料です。
ABKELP
昆布(羅臼/利尻/道南/日高/釧路/根室/三陸/韓国/中国/ロシア)
わかめ・ひじき・あらめ・さがらめ・つのまた・　とさか・あおさ・
杉のり・青のり・　海ぶどう・　天草・めかぶ・茎わかめ・海藻サラダ・
ばらのり・寒天・海藻粉末・海藻フコイダン・海藻飼料・
海藻ペットフード・海藻肥料
新商品
海藻粉末肥料 取扱い始めました
▼お問い合わせは　ミツ株式会社
〒516-0066　三重県伊勢市 辻久留3-7-24
TEL:0596-20-5532　FAX:0 596-20-7732
http://www.mitsucorp.co.jp/
info@mitsucorp.co.jp

自分達の海は自分達で守る！
JF 壱岐東部
壱岐東部漁業協同組合
〒811-5311　長崎県壱岐市芦辺町諸吉本村触1342-14
TEL:0920-45-0385　FAX:0920-45-3910
代表理事組合長　　浦田　和男
URL:http//www.ikitobu.com

広　告　海の森づくり第15回シンポジウムのご成功をお祈りします。

キミカは、海藻から生まれる
安心の天然物質「アルギン酸」を世界に供給しています。

食品用増粘安定製剤
KONBUSAN KIMICA
昆布酸

アルギン酸ナトリウム
キミカアルギン
KIMICA
ALGiN

アルギン酸エステル
キミロイド
KIMILOID

KIMICA
Marine Biopolymers
Alginate
KIMICA INTERNATIONAL

株式会社 キミカ　www.kimica.jp/
本　　社　東京都中央区八重洲2-4-1 〒104-0028 Tel.03-3548-1941 Fax.03-3548-1942 E-mail:tokyo-office@kimica.jp
大阪営業所　大阪市淀川区西中島3-23-16 〒532-0011 Tel.06-6300-1310 Fax.06-6300-1306 E-mail:osaka-office@kimica.jp
千葉プラント　千葉県富津市大堀1029　〒293-0001 Tel.0439-87-1131 Fax.0439-87-3613 E-mail:chiba-plant@kimica.jp
KIMICA America Inc.　Alginatos Chile S.A. [Aichi]

エイジング肌と戦うすべての女性に！

Iki no takara
壱岐のたから
URUMI
麗海・うるみ

1.5倍の
「フコイダン」
壱岐こんぶ
エキス配合

太陽と海の恵みを受けた“壱岐こんぶ”が
肌に、髪に、美しさを届けます




フェイスパック 100g
スカルプシャンプー 300g
エッセンス 30ml

株式会社ミューズ
〒166-0003　東京都杉並区高円寺南 1-11-6
ハーモニーヒルズ 5 階
TEL：03-5305-6608　FAX：03-5305-6609

壱岐のたから うるみ 公式サイト
http://ikinotakara.ikinet.jp/

NPO法人「海の森づくり推進協会」についてはこちらから

海の森づくり　検索

http://www.kaichurinn.com

# 会員募集中

## あなたも私達といっしょに活動しませんか?

海の森づくり運動の３つのスローガン

1. 山・川・森・海・人の健康を取り戻そう!
2. 海の森づくり運動を全国に、全世界に広げよう!
3. "海藻・海草"は地球と人を救うお医者さん!

※会の趣旨にご賛同いただける方は、以下をご参照の上是非ご入会下さい。

| 会　員　種　別 | 入会金 | 年会費 | メ　　モ |
|---|---|---|---|
| 正　会　員 | 1,000円 | 1口(3,000円)以上 | 総会に議決権を持って出席できます。 |
| 賛助個人会員 | 1,000円 | 1口(1,000円)以上 | 会の活動を賛助し、イベント案内や会の活動報告を受けます。 |
| 賛助団体会員A | 1,000円 | 1口(10,000円)以上 | |
| 賛助団体会員B | | 1口(20,000円)以上 | |
| 賛助団体会員C | | 1口(30,000円)以上 | |
| 特別賛助会員免除 | 免　除 | 1口(100,000円)以上 | |
| ネットワーク会員 | 免　除 | 無　料 | NW機能を果たせる人・団体 |

＊入会を希望される方は、下記申込書にご記入の上、Faxにてご連絡ください。
ただし、年会費から1口を除いた部分は寄付として扱わせていただきます。
NW会員以外の会員の変更に際しては入会金は免除されます。
2年以上会費が未納の場合、自働的にい会員資格は失効します。

Fax: 018-833-7734　海の森づくり推進協会　行き

## NPO法人「海の森づくり推進協会」入会・寄付申込書

| | |
|---|---|
| 現会員の種類(該当箇所)に○を付けてください。 | 非会員、正会員、賛助個人会員、賛助団体会員、特別賛助会員、ネットワーク会員 |
| □　入会申込書 | □　寄付申込書 |
| 望む会員の種類 | 寄付額　　円 |
| ふりがな<br>氏　　名 | |
| 住　　所 | 〒 |
| 所属団体名(肩書) | |
| 連絡先電話番号 | Fax番号: |
| e-mailアドレス | |
| 備　　考 | |

＊この情報は会員への通信以外には使用しません。上記住所宛に郵便振替用紙を送付させていただきます。

NPO法人　海の森づくり推進協会
(Tel&Fax: 018-833-7734　e-mail: matsuday2015@gmail.com )